

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2025年8月6日

1. 2026年3月期 第1四半期決算	2
2. 2026年3月期 業績予想・配当予想	20
3. トピックス	24

2026年3月期 第1四半期決算



Develop

高松都市開発

◆概要

当社の連結子会社である高松建設の不動産事業の一部を、吸収分割により、高松建設の子会社である大昭工業の子会社（高松建設の孫会社）のT S Kハウジングに承継。持株会社がT S Kハウジングの全株式を取得し、直接保有子会社とすることに関して、株式譲渡契約を締結した。本吸収分割後、T S Kハウジングは商号を「株式会社高松都市開発」へ変更し、不動産開発事業を担う。

◆事業内容と今後の見通し

高松建設でおこなっていたマンション分譲事業（ティサージュ、トリニティ）を継承しつつ、今後は5月に開示した中期経営計画に掲げた通り、バリューチェーンにおける川上・川下領域への展開・強化をはかるべく、土地不動産の取得から建物の設計・施工、管理・運営、売却を一気通貫でおこなう不動産開発事業に注力していく。具体的には、富裕層向けのレジデンス開発を中心に、賃貸物件の保有・運営まで幅広く事業展開をおこないつつ、総合デベロッパーへの展開を検討していく。

商号	株式会社高松都市開発
事業内容	不動産開発業
本店所在地	東京都港区芝4丁目9番4号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 高城昌弘
資本金	20百万円
吸収分割の効力発生日	2025年7月1日
大株主および持株比率	高松コンストラクショングループ 100%
社員数	18名（2025年7月1日現在）

企業集団の状況

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス		大阪・東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
青木あすなろ建設			国内（全国）
島田組			国内（全国）
みらい建設工業			国内（全国）
青木マリーン			国内（全国）
	エムズ		首都圏
東興ジオテック			国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		タカマツハウス不動産	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		高松都市開発	東京・大阪
		高松CG USA	米国
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

2026年3月期 第1四半期業績推移

◆ 受注高、売上高、営業利益額は第1四半期として過去最高。すべての科目で前年同期比増となり、親会社株主帰属四半期純利益は8億円となった。(億円)

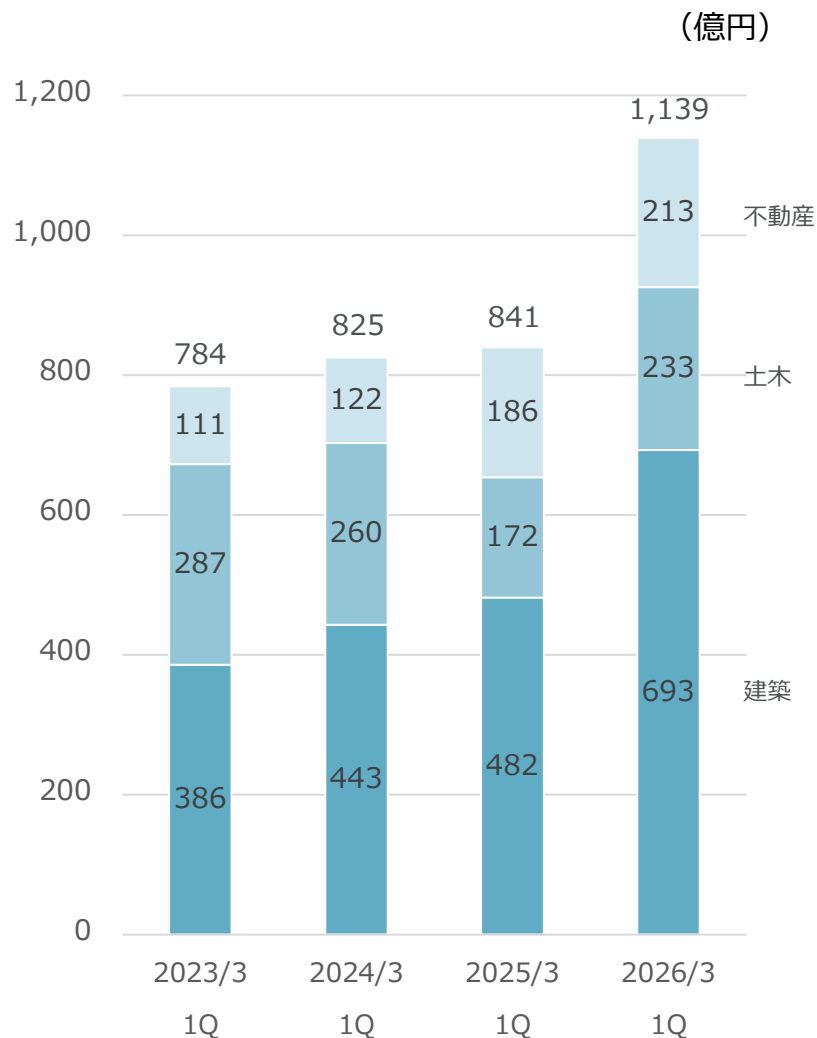
項目	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	増減率
受注高	784	825	841	 1,139	+35.4%
売上高	604	656	781	 790	+1.2%
売上総利益	76	88	91	 110	+20.5%
売上総利益率	12.6%	13.5%	11.7%	 14.0%	+2.3pt
営業利益	3	8	9	 19	+103.5%
営業利益率	0.6%	1.2%	1.3%	 2.5%	+1.2pt
経常利益	4	9	9	 18	+87.2%
経常利益率	0.8%	1.5%	1.3%	 2.4%	+1.1pt
親会社株主帰属 四半期純利益	0.6	△1	1	 8	+382.3%
四半期純利益率	0.1%	△0.2%	0.2%	 1.0%	+0.8pt

セグメント別 受注高

- ◆ 建築は高松建設と青木あすなろ建設の増加により前年同期比+43.6%と大幅増。土木は主にみらい建設工業、東興ジオテックで増加し前年同期比+35.0%と大幅増。不動産はタカマツハウスと高松エステートの増加により前年同期比+14.6%と増加。

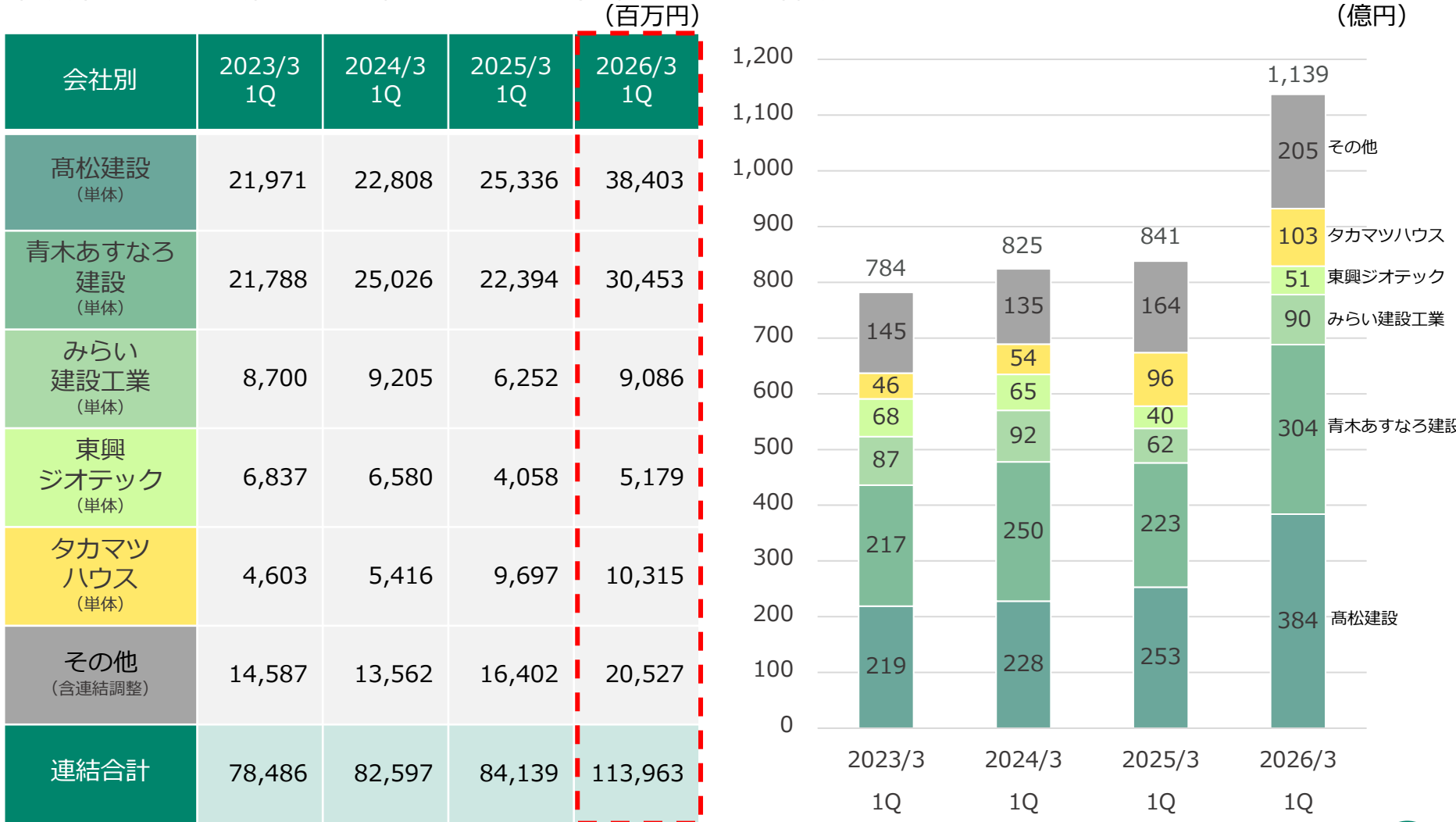
セグメント別	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q
建築	38,605	44,369	48,255	69,308
土木	28,777	26,003	17,255	23,301
不動産	11,104	12,224	18,628	21,353
連結合計	78,486	82,597	84,139	113,963

(百万円)



中核事業会社別 受注高

◆ 高松建設は案件の大型化により前年同期比+51.6%と大幅増。青木あすなろ建設は建築で大型案件受注があり前年同期比+36.0%と大幅増。みらい建設工業は大型の案件受注が複数あり前年同期比+45.3%と大幅増。東興ジオテックは前期受注予定だった大型案件を受注したことにより前年同期比+27.6%。タカマツハウスは前年同期比+6.4%。その他中核5社以外のグループ会社は主に高松エステートと島田組で増加し前年同期比+25.1%。



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。
©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

中核事業会社別 次期繰越高

- ◆ 高松建設は受注高、売上高の大幅な増加により前年同期比+13.5%。青木あすなろ建設は土木の次期繰越高は減少したものの建築で受注高が増加し売上高が減少したことで次期繰越高が大幅に増加し、合計で前年同期比+16.8%。みらい建設工業は受注高の増加および売上高の減少により前年同期比+35.0%と大幅増。東興ジオテックは受注高の増加および売上高の減少により前年同期比+13.5%。タカマツハウスは受注高の増加により前年同期比+35.7%と大幅増。連結合計で前年同期比+16.6%となった。

(百万円)

会社別		2025/3 1Q	2026/3 1Q	増減額	増減率
高松建設 (単体)		214,561	243,436	↑ 28,875	+13.5%
青木あすなろ建設 (単体)	建築	94,814	130,776	↑ 35,962	+37.9%
	土木	64,779	55,615	↓ △9,164	△14.1%
	合計	159,594	186,391	↑ 26,797	+16.8%
みらい建設工業 (単体)		32,103	43,339	↑ 11,236	+35.0%
東興ジオテック (単体)		12,103	13,740	↑ 1,637	+13.5%
タカマツハウス (単体)		4,885	6,627	↑ 1,742	+35.7%
その他 (含連結調整)		19,148	22,427	↑ 3,279	+17.1%
連結合計		442,394	515,960	↑ 73,566	+16.6%

※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

高松建設 セグメント別受注高

- ◆ 賃貸マンション建築は、東京で前年同期比約4億円減少したものの大阪で約25億円増加し、高松建設全体では前年同期比約21億円の増加。
- ◆ 一般建築は、大阪で前年同期比約8億円減少したものの東京で約109億円増加し、高松建設全体では前年同期比約100億円増と前年同期を大幅に上回る受注高となった。
- ◆ 不動産の内訳は販売用不動産および分譲マンションの合計受注高。大阪・東京ともに前年同期を上回る受注高となった。

セグメント別 受注高 (百万円)

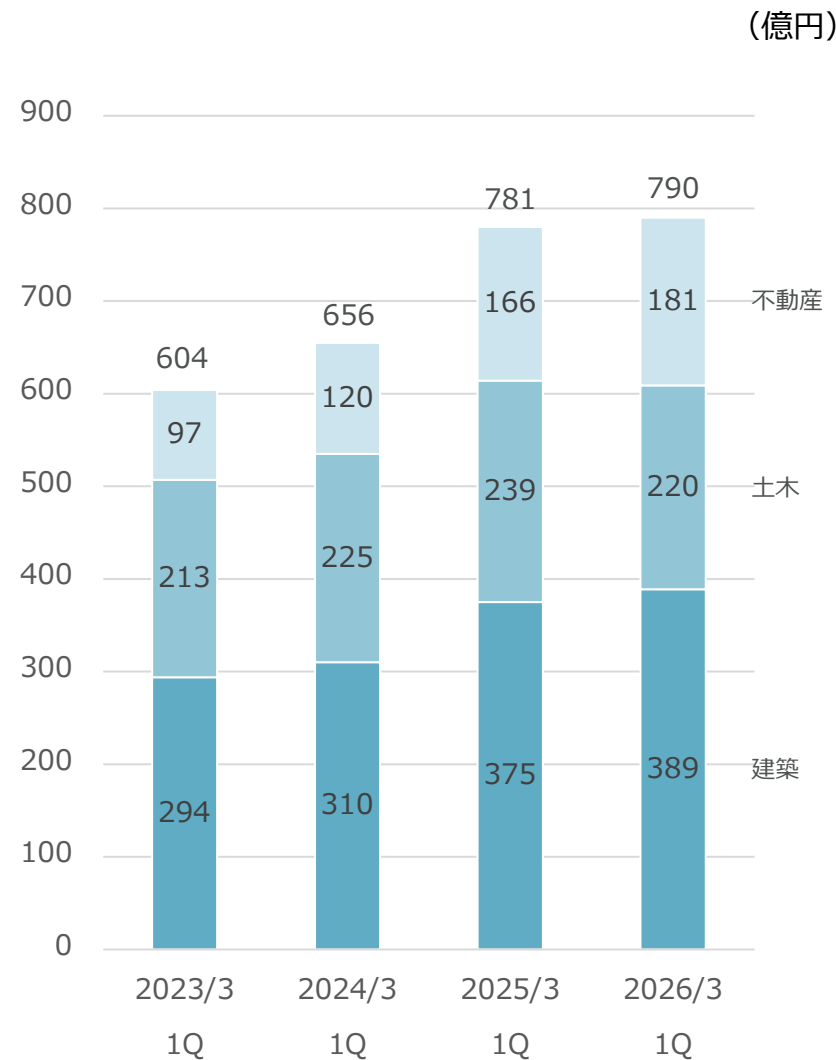
		大阪				東京			
		2025/3 1Q	構成比	2026/3 1Q	構成比	2025/3 1Q	構成比	2026/3 1Q	構成比
建 築	賃貸 マンション	1,657	16.0%	4,178	34.7%	8,712	58.2%	8,302	31.5%
	一般建築	8,689	83.8%	7,843	65.0%	6,023	40.2%	16,950	64.4%
不動産		18	0.2%	40	0.3%	237	1.6%	1,090	4.1%
合計		10,364	100%	12,061	100%	14,972	100%	26,342	100%

※数値はグループ会社間取引を含む。
※構成比は小数点以下第二位四捨五入

セグメント別 売上高

◆ 建築は前年同期比+3.7%。土木は前年同期比△8.0%。不動産は前年同期比+9.0%。

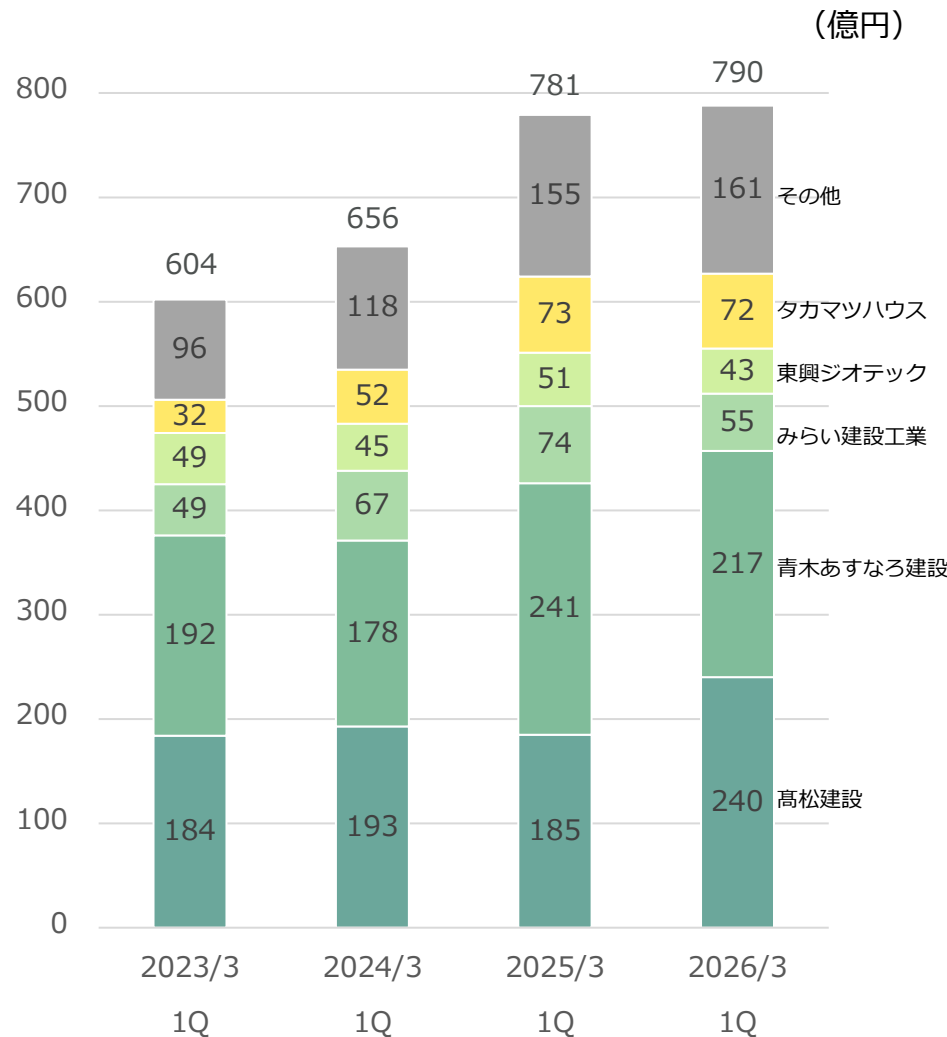
(百万円)				
セグメント別	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q
建築	29,400	31,064	37,550	38,922
土木	21,312	22,513	23,955	22,037
不動産	9,714	12,035	16,624	18,120
連結合計	60,427	65,613	78,130	79,081



中核事業会社別 売上高

- ◆ 高松建設は繰越工事が順調に進捗し前年同期比+29.4%と大幅増。青木あすなろ建設は好調だった前年同期と比較すると減少し△9.8%。みらい建設工業は大型案件の着工が後ろ倒しになったこと等により前年同期比△26.0%と大幅減。東興ジオテックは前年同期比△14.5%。タカマツハウスは前年同期比△1.2%。

会社別	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q
高松建設 (単体)	18,402	19,397	18,562	24,018
青木あすなろ 建設 (単体)	19,262	17,811	24,125	21,772
みらい 建設工業 (単体)	4,946	6,750	7,440	5,504
東興 ジオテック (単体)	4,908	4,564	5,138	4,395
タカマツ ハウス (単体)	3,217	5,227	7,309	7,219
その他 (含連結調整)	9,692	11,864	15,556	16,173
連結合計	60,427	65,613	78,130	79,081



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

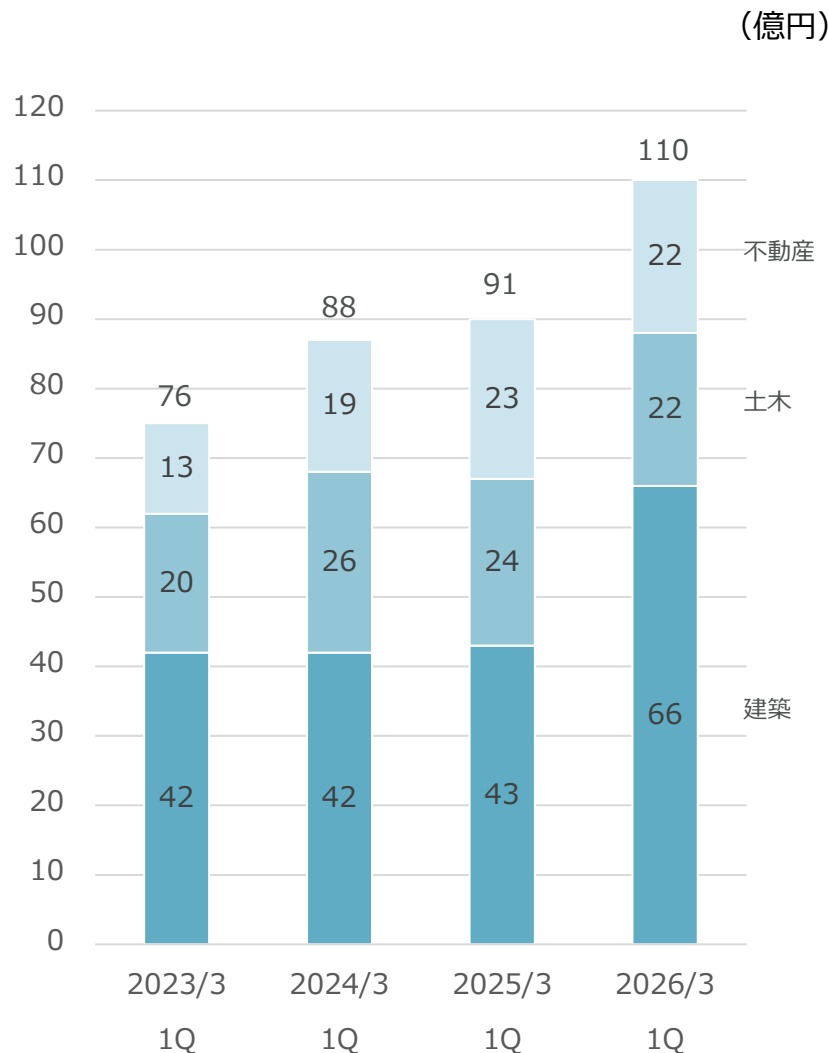
©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 売上総利益

◆ 建築は主に高松建設で増加し前年同期比+51.7%と大幅増。土木は前年同期比△8.2%。不動産は前年同期比△7.6%。

セグメント別	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q
建築	4,220	4,280	4,361	6,615
土木	2,072	2,644	2,408	2,210
不動産	1,321	1,927	2,388	2,206
連結合計	7,613	8,852	9,158	11,032

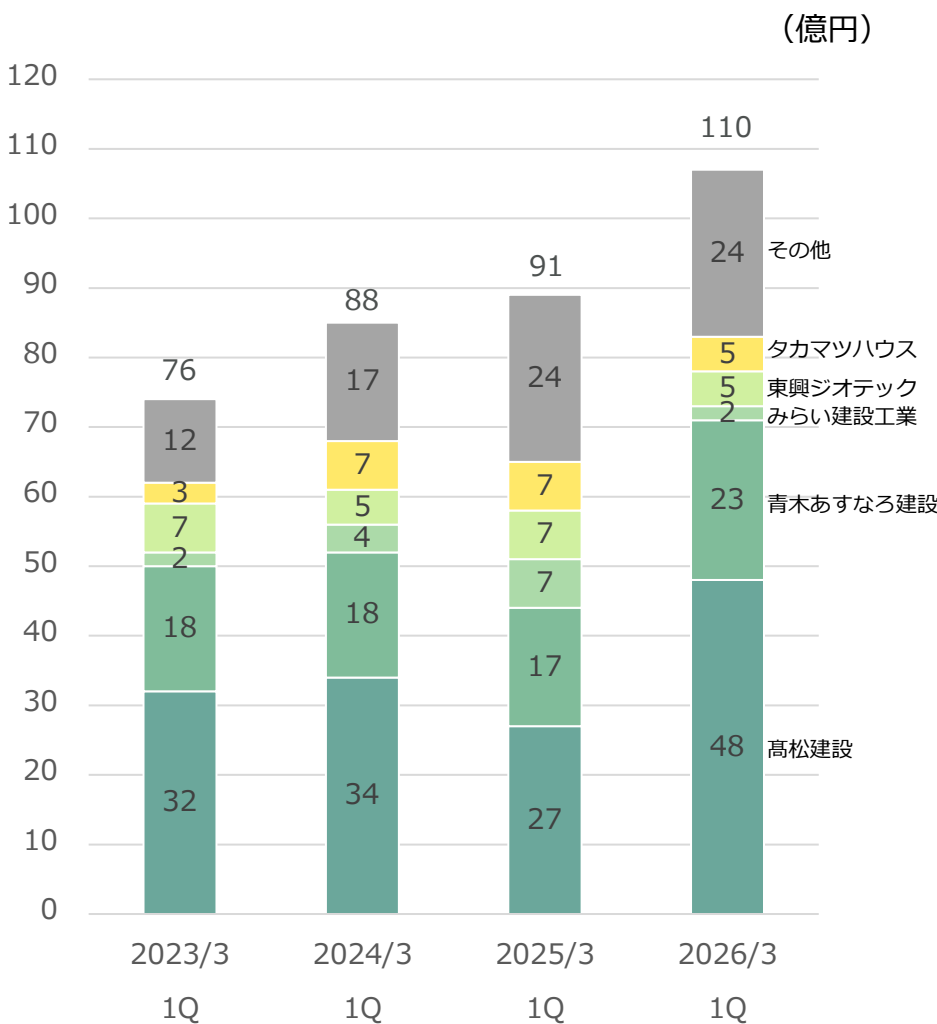
(百万円)



中核事業会社別 売上総利益

◆ 高松建設は売上高の増加および売上総利益率の上昇により前年同期比+73.5%と大幅増。青木あすなろ建設は売上高は減少したものの売上総利益率は上昇し前年同期比+34.3%と大幅増。みらい建設工業は売上高の減少、売上総利益率の低下により前年同期比△62.9%と大幅減。東興ジオテックは売上高の減少により前年同期比△17.2%。タカマツハウスは在庫調整の影響で前年同期比△30.7%と大幅減。

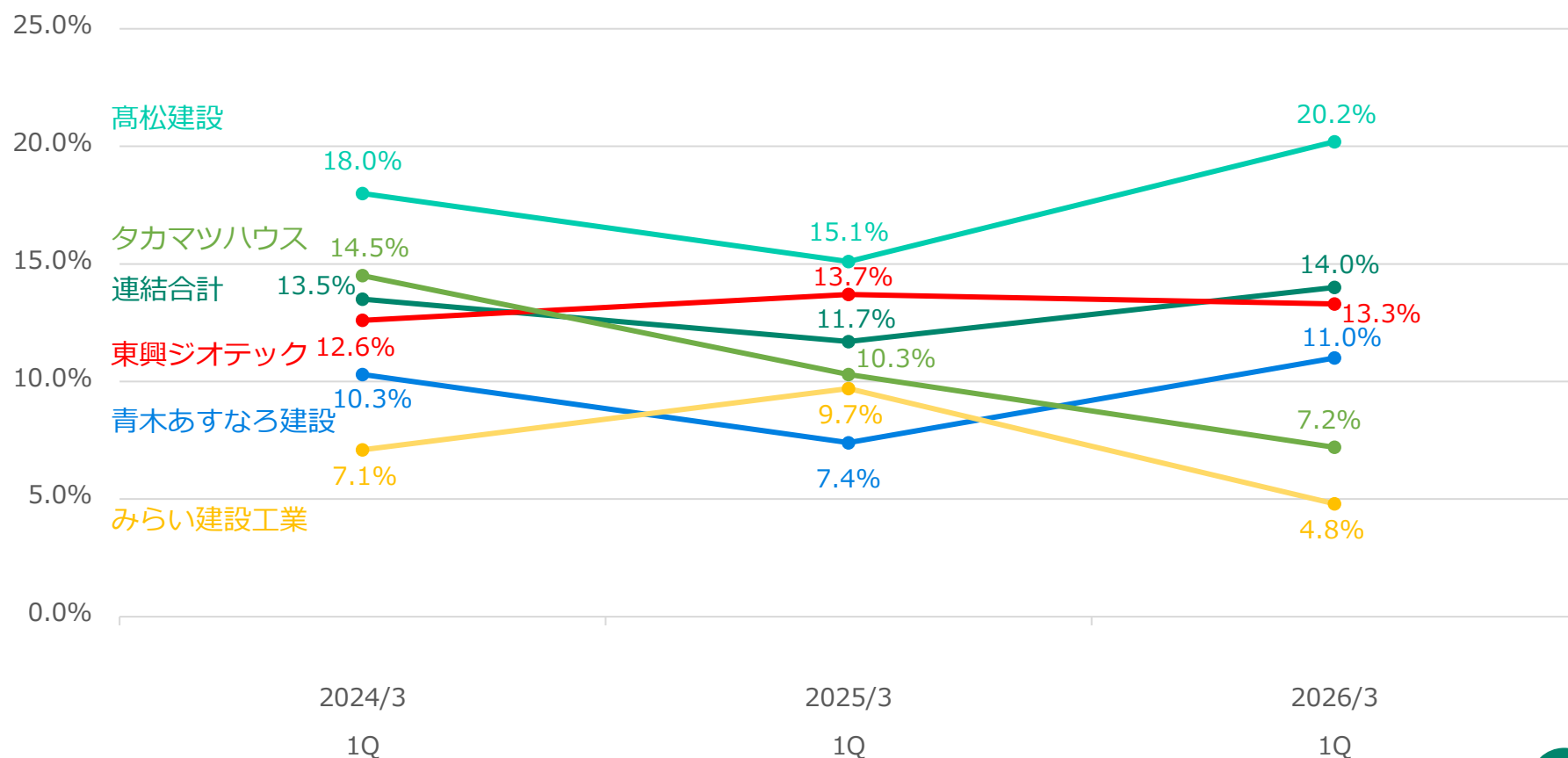
(百万円)				
会社別	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q
高松建設 (単体)	3,217	3,483	2,795	4,849
青木あすなろ 建設 (単体)	1,814	1,830	1,783	2,394
みらい 建設工業 (単体)	248	478	719	266
東興 ジオテック (単体)	705	575	703	582
タカマツ ハウス (単体)	393	758	754	522
その他 (含連結調整)	1,236	1,728	2,404	2,419
連結合計	7,613	8,852	9,158	11,032



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。
©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

連結合計と中核5社の売上総利益率

- ◆ 高松建設は売上高および売上総利益額の増加により前年同期比+5.1ptと大幅に上昇。
- ◆ 青木あすなろ建設は売上高は減少したものの売上総利益額は増加し前年同期比+3.6ptと大幅に上昇。
- ◆ みらい建設工業は売上高および売上総利益額の大幅な減少により前年同期比△4.9ptと大幅に低下。
- ◆ 東興ジオテックは前年同期比△0.4pt。
- ◆ タカマツハウスは主に売上総利益額の減少により前年同期比△3.1ptと大幅に低下。
- ◆ 連結合計は前年同期比+2.3ptとなった。



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

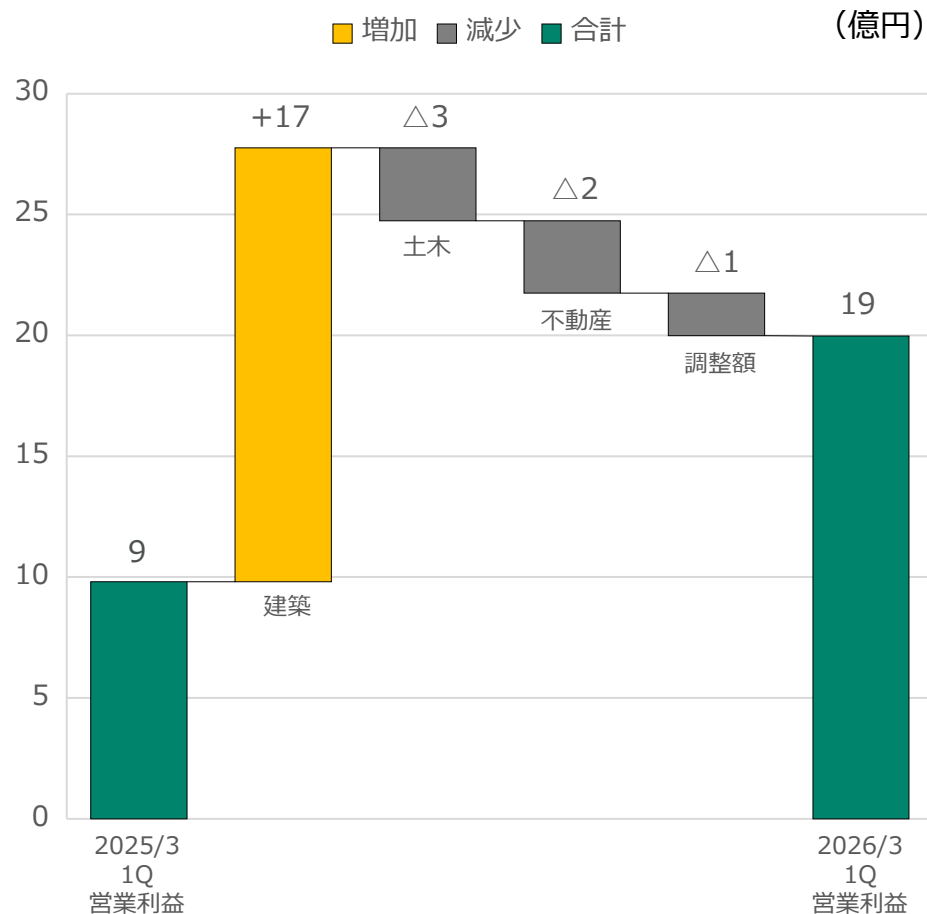
©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 営業利益

- ◆ 建築は高松建設で大幅に増加し、前年同期比約17億円増加。土木は主にみらい建設工業、東興ジオテックで営業赤字となったことから前年同期比△33.3%。不動産は主にタカマツハウスで営業赤字となったことから前年同期比△22.8%。

セグメント別	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q
建築	245	138	28	1,822
土木	666	1,176	904	603
不動産	608	821	1,308	1,009
連結調整	△1,130	△1,328	△1,259	△1,436
連結合計	390	807	981	1,997

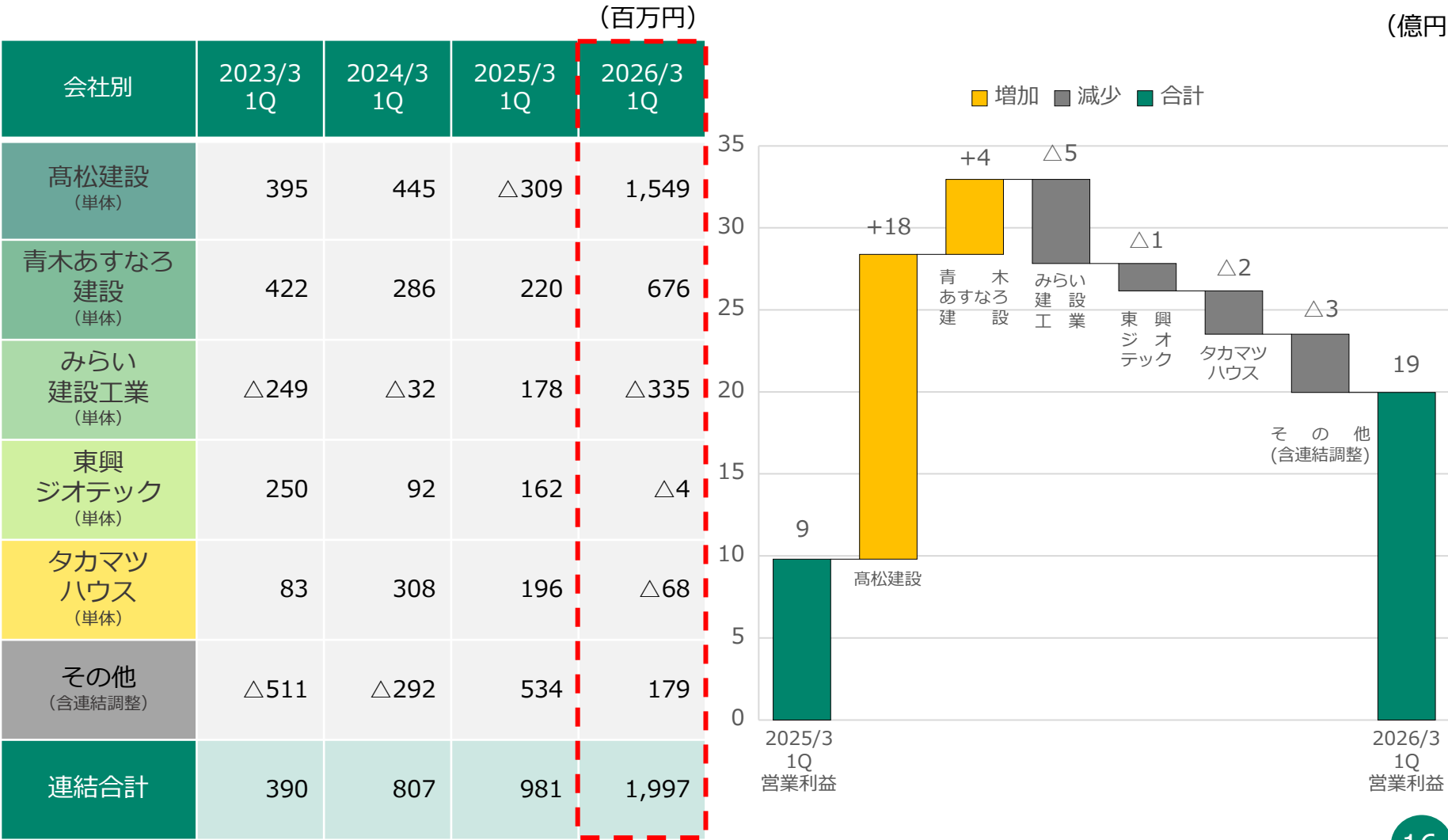
(百万円)



※各セグメントの数値はグループ会社間取引を含む。

中核事業会社別 営業利益

◆ 高松建設は売上高の増加、売上総利益率の上昇により約15億円の営業黒字となった。青木あすなろ建設は売上総利益率の上昇により、前年同期比約3倍の増加。みらい建設工業は売上高の減少、売上総利益率の低下により約3億円の営業赤字。東興ジオテックは売上高の減少により約4百万円の営業赤字。タカマツハウスは売上総利益率の低下により約68百万円の営業赤字。

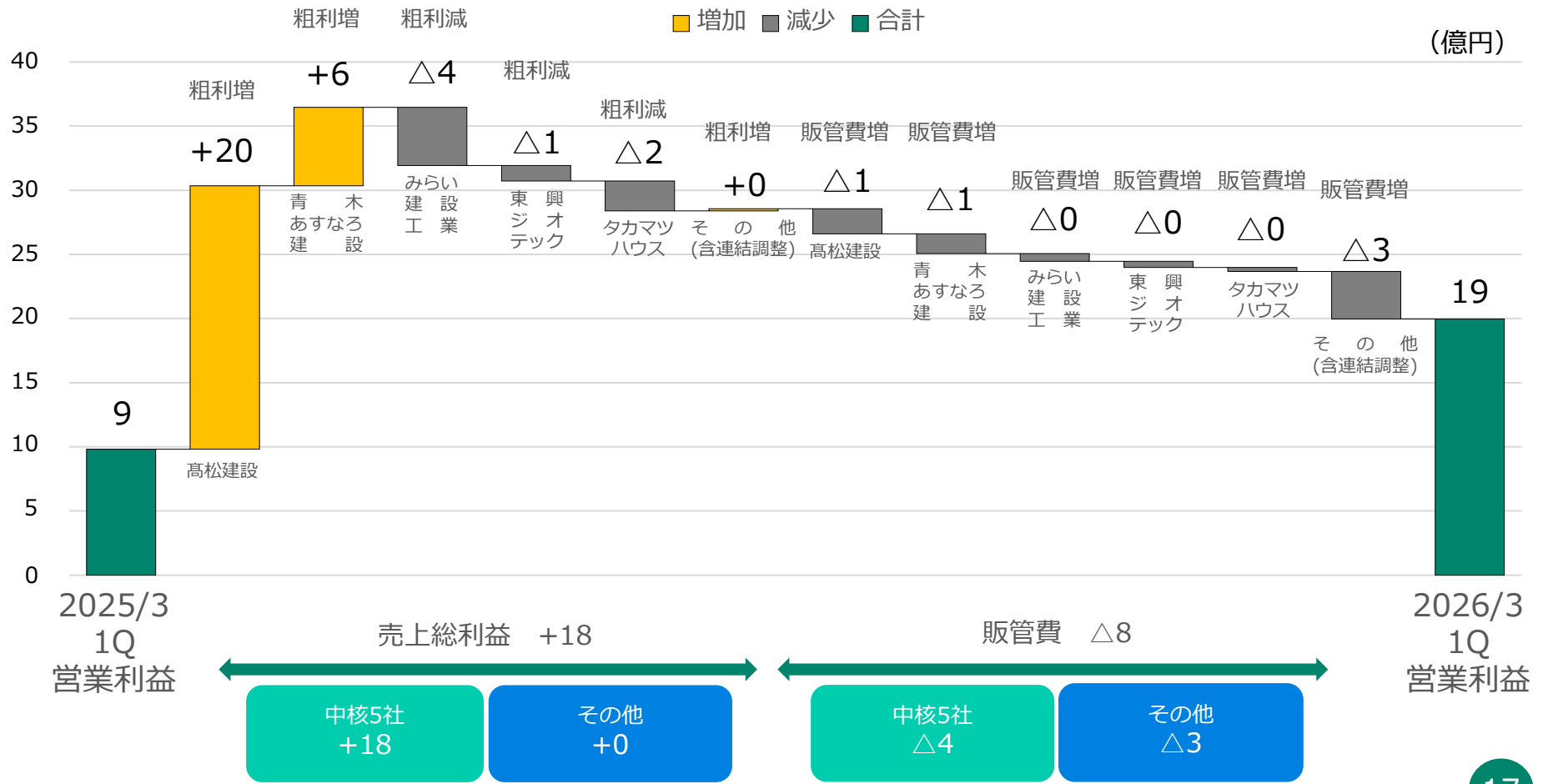


※個社の数値はグループ会社間取引を含む。
©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

売上総利益・販管費 営業利益増減分析

- ◆ 売上総利益はみらい建設工業、東興ジオテック、タカマツハウスの減少を高松建設と青木あすなろ建設の増加で補い、前年同期比約18億円の増加。
- ◆ 販管費は主に高松建設、青木あすなろ建設、その他中核5社以外のグループ会社で増加し、前年同期比約8億円の増加。
- ◆ 営業利益は連結で前年同期比約10億円の増加となった。

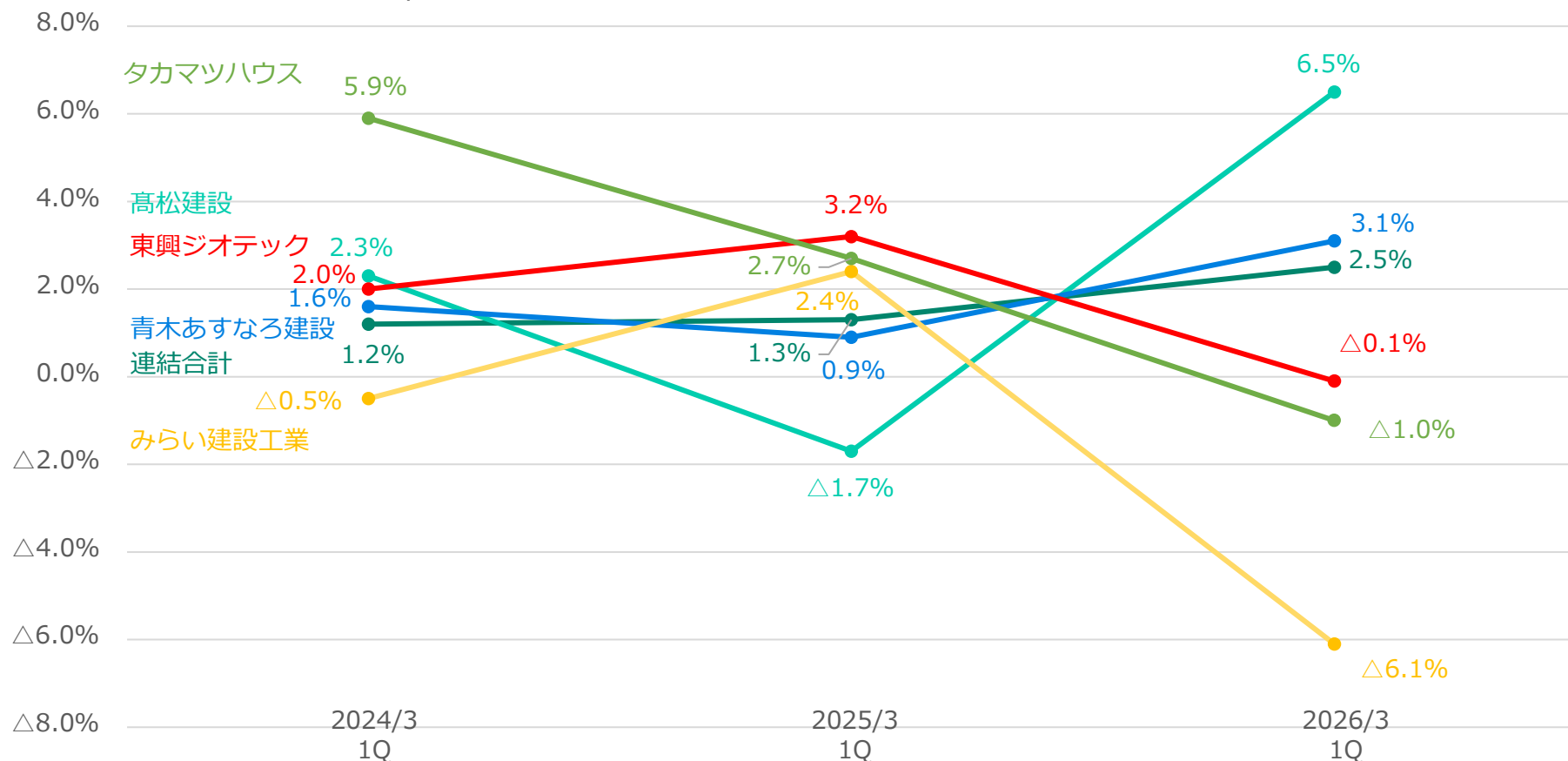
営業利益増減分析



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。
©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

連結合計と中核5社の営業利益率

- ◆ 高松建設は前年同期の営業赤字から回復し、前年同期比+8.2ptと大幅に上昇。
- ◆ 青木あすなろ建設は売上総利益率の上昇により、前年同期比+2.2pt。
- ◆ みらい建設工業は営業赤字により前年同期比△8.5ptと大幅に低下。
- ◆ 東興ジオテックは営業赤字により前年同期比△3.3ptと大幅に低下。
- ◆ タカマツハウスは営業赤字により前年同期比△3.7ptと大幅に低下。
- ◆ 連結合計で前年同期比+1.2ptとなった。



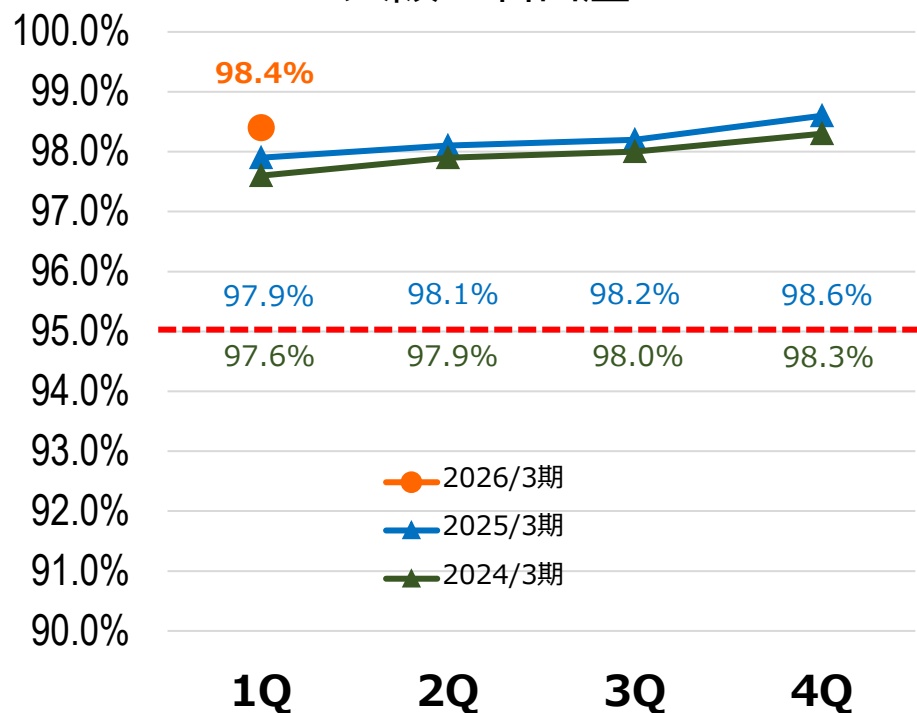
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

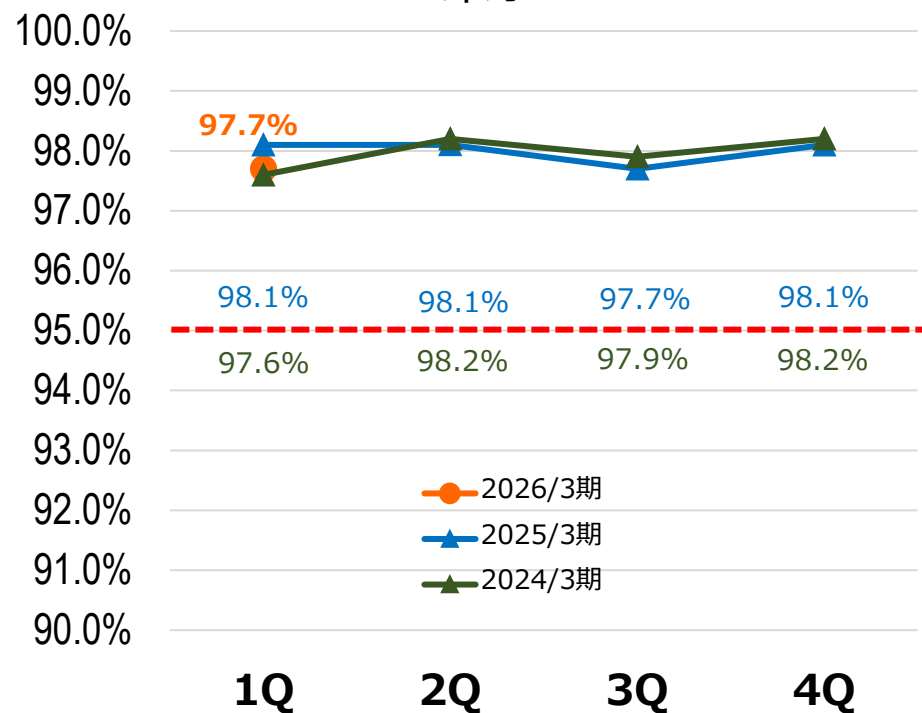
高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 入居率は26/3月期第1四半期も95%以上を維持。

大阪・名古屋



東京



定義：

「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

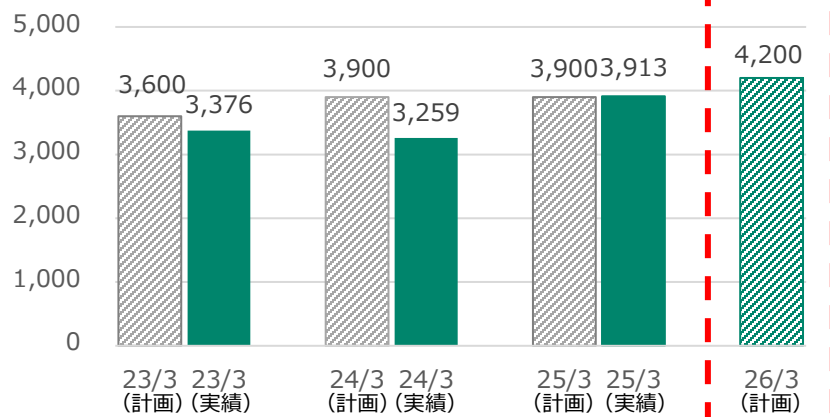
「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数
÷ 各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

2026年3月期 業績予想・配当予想

2026年3月期 業績予想

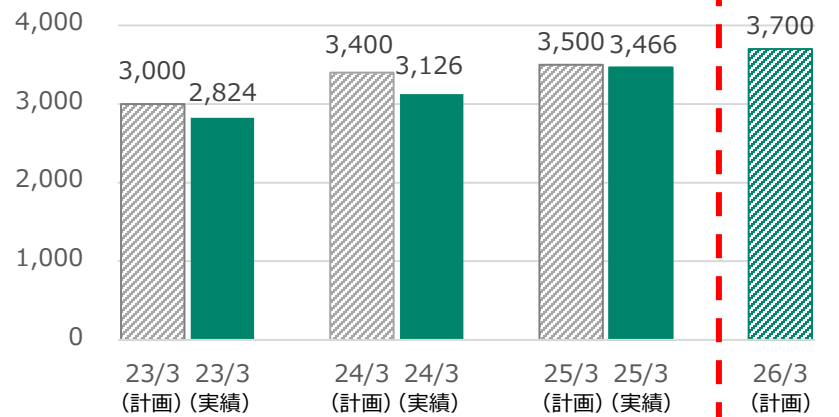
受注高

(億円)



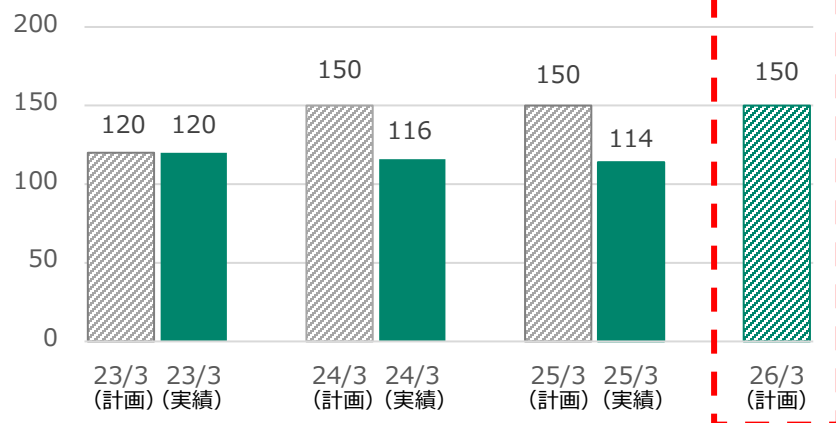
売上高

(億円)



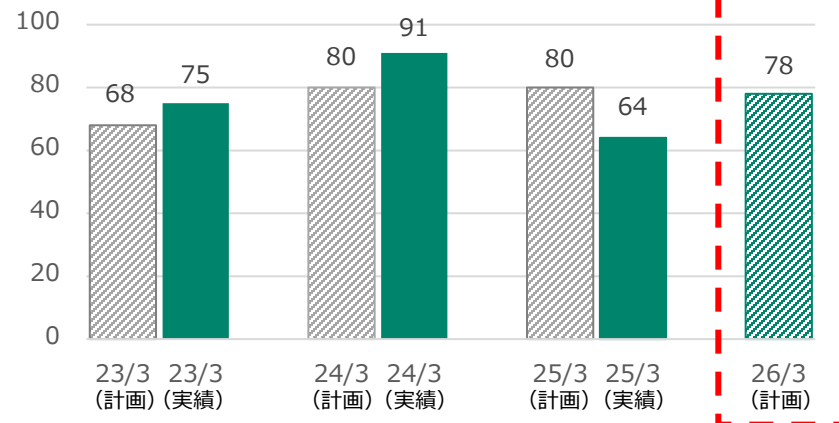
営業利益

(億円)

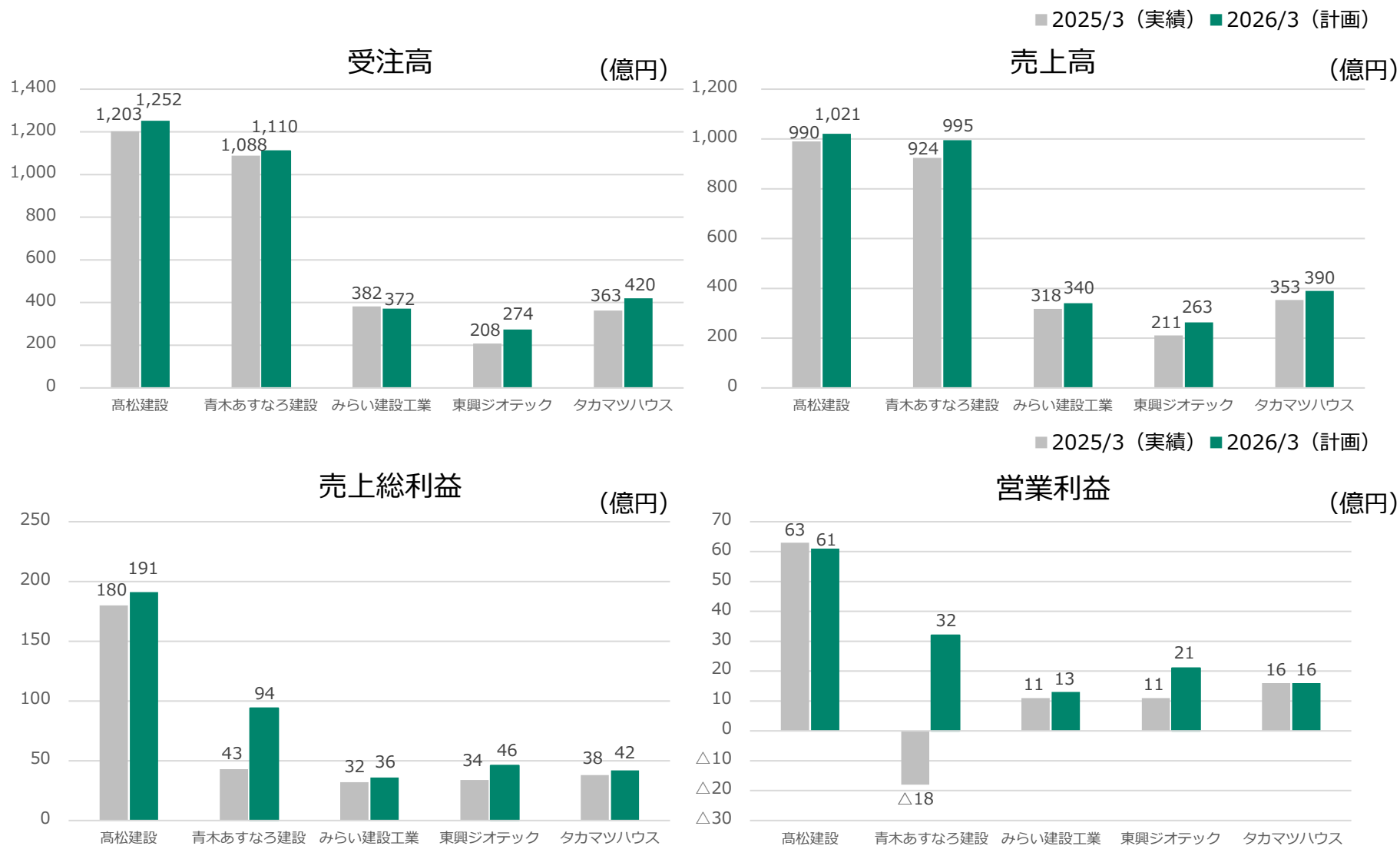


親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)



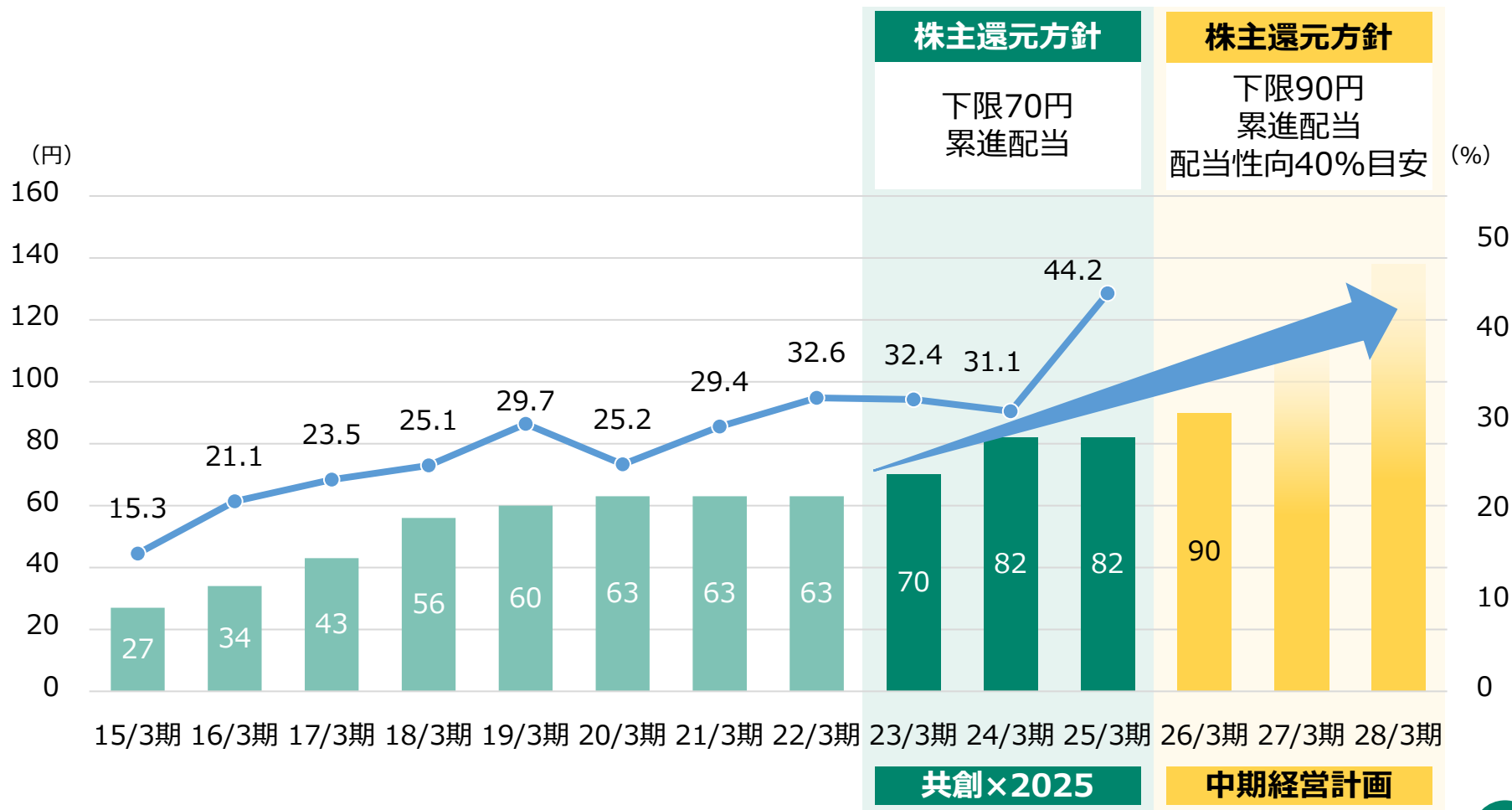
中核事業会社別2025年3月期実績・2026年3月期経営計画



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

2026年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）の対象年度においては、**累進配当**を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の**下限を90円**に設定。
- ◆ **配当性向40%を目安**とし、業績に連動した利益還元をおこなう。
- ◆ 2026年3月期の配当金額は1株当たり90円、配当性向は40.2%を予定。

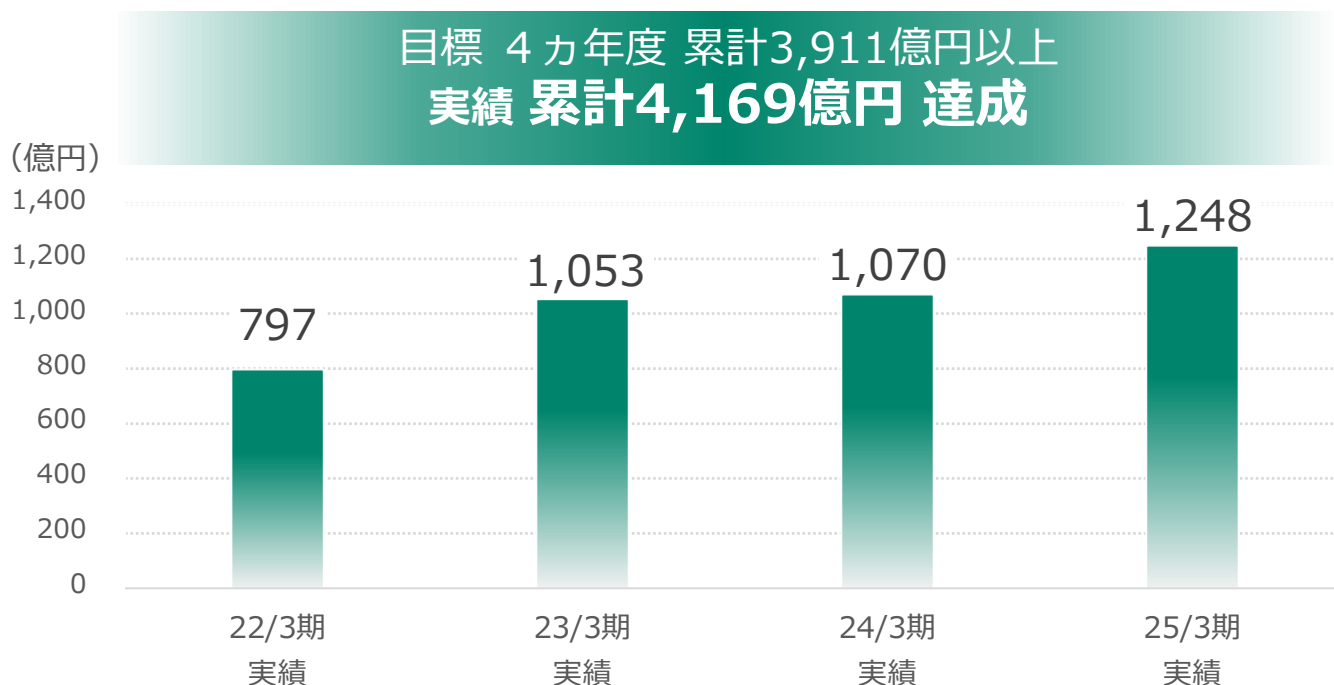


トピックス

SDGs貢献売上高の目標達成

- ◆ 当社は2021年3月に国内初のサステナビリティ・リンク・グリーンボンド(以下、SLGB)を発行。本SLGBは、2022年3月期～2025年3月期で「SDGs貢献売上高」が累計3,911億円以上になることを目標とし、目標未達の場合は償還時(2026年3月)に投資家に対し社債の金額100円につき0.5円のプレミアムを支払う仕組み。「SDGs貢献売上高」は「高松グループ売上高のうちSDGsが掲げる17ゴールに対応した売上高」と定義し、ZEB・ZEHや再生可能エネルギー関連施設の工事、耐震補強工事、耐震性能の高いマンション建築、断熱性能等の高い木造住宅の販売等、目標達成に向け取り組んできた。
- ◆ 今回、2025/3期は1,248億円となり、4カ年累計4,169億円と、掲げた目標を大きく上回る結果となった。調達した資金約100億円は全額、グリーンプロジェクトとして2023年5月に竣工した環境指標CASBEE Aランク取得の当社東京本社ビル新築工事に充当した。
- ◆ 今後も持続可能な循環型経済社会の実現に向け積極的な貢献をしていきたいと考えている。

SDGs貢献売上高





本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。